

idea

NPO・行政・企業・地域の情報発信により、アイデアと出会いの機会を創ります。
ニュースレター アイデア

2013
6月号

つながり×ひろがる

いちのせき市民活動センター



～ も く じ ～

- 2 | いちのせき市民活動センター活動紹介
- 3 | 団体紹介～藤沢町ボランティアセンター～(藤沢)
- 4 | 地域紹介～東山町 田河津地域 横沢部落自治会～(東山)
- 5 | 企業紹介～一関糧運株式会社～(萩荘)
- 6 | 歩が行く～北上川クリーン大作戦！～(川崎)

いちのせき市民活動センター

活動紹介



- ①市民活動相談支援
- ②情報発信・収集、啓発支援
- ③地域への参画支援
- ④話し合い支援
- ⑤他事業との連携
- ⑥地域協働体への組織づくり支援

いちのせき市民活動センターが、
行っている活動の御紹介をいたします。

室根町の10年後を考える

5月9日は、室根曲くふれあいセンターで室根まちづくり協議会が開かれました。この会は、室根の特性を活かした地域づくりを行い、暮らしやすく幸せを感じるまちづくりを実現するために設立。5月～8月まで毎月1回ずつ協議し、1回目となる今回の会議では「10年後、どんな室根町にしたいか」をテーマにワークショップを実施。総務企画・生活福祉・産業経済の3つの部に分かれて協議した結果、現在の資源を活かした地域活性化に繋がるアイデアや、施設の充実、安心安全で交流が盛んなまちにしたい等、積極的な意見交換ができました。中には「居酒屋は無料」というユニークな意見も。次回の会議も、引き続き室根の10年後について協議を進める予定です。

話し合い支援 室根まちづくり協議会

—平成25年5月9日(木) 19:00~21:00—



グループで出た意見を全体で発表している時の様子

地域づくりの疑問を解決

地域づくりハンドブックは、地域づくりを行う全ての方へ、困った時や行き詰った時に少しでも役立てて欲しいという思いで制作した、地域づくりの手引き書です。

この本は、「地域づくりとは」「話し合いの仕方」「地域づくりの進め方」「事業の進め方」「一関市の地域づくり事例」と全5章で構成され、地域づくりを円滑に進めるためのノウハウや、役立つ情報を集約しています。一関市が進めている協働のまちづくり計画に伴い、今後は住民主体で地域づくりを進める機会が増える予想されます。事業計画から進め方、各種書類の書き方などがまとめられていますので、迷った時はぜひこのハンドブックを活用していただければと思います。

協働への取り組み 地域づくりハンドブック



作成を手がけたスタッフ

繋がり架け橋に

千厩町内にお住まいの方から、「前に趣味で行っていたガーデニングを再開したい。一緒に活動し、交流してくれる仲間を探しています。」という相談を受けました。相談を受けたスタッフは、まちのガーデニング教室や花に関する団体、民区や個人の方を紹介し、その中からお客様の希望に合った方を見つけることができました。市内には、人の数だけそれぞれ趣味をもった方がいますが、その方達が交流し繋がることでより大きな楽しみを得られたり、活躍の場が増え、広がることもあります。このように、当センターが市民の仲介に入り、大小関係なく1つ1つの地域の声と向き合い、やがてその活動を通じ、地域に少しでも多くの笑顔を増やしていければと思います。

窓口業務 事業所の個別相談



ご紹介した個人宅のガーデニング
花咲く時期が楽しみです

団体 紹介



事業所入口

～基本情報～

- ◆代表：小野寺 恒雄 さん
- ◆事務局長：熊谷 正明 さん
- ◆法人認定日：平成 11 年 6 月 14 日
- ◆事業所
〒029-3405 一関市藤沢町藤沢字町裏 55
TEL：0191-63-2936

誰もが望んでいる住み慣れた地域で安心して老い、 藤沢に住んで良かったと実感できる町づくりを目指して

健康と福祉の里づくり 支え合い、喜び合える

藤沢町ボランティアセンターは、平成5年に団体を設立後、平成11年に一関市内初となるNPO法人格を取得。藤沢町の中心市街地に事務所を構え、隣接している保健センターや藤沢病院等の福祉・医療施設と共に、地域の高齢者や身障者の生活を、介護福祉の面から支え続けてきました。

センターの事業は、大きく分けて「介護保険事業（訪問介護・訪問入浴）」と「身体・知的障がい者の居宅介護支援事業」があります。一人暮らしの高齢者、もしくは家族だけではお世話が難しい家庭を対象に職員がサービスを提供していますが、この他に掃除洗濯、買い物や食事の準備などの家事援助は、協会員が行っています。また、年に2〜4回行われる評議員会に参加する評議員や、地域と連絡を行う地域福祉活動推進員は、全て藤沢町全43自治会の中から選出され、法人の役員は15名のうち約半数が地域の各団体に所属している会員で構成。さらに、町内全戸（約2600世帯）のほとんどの世帯が会員であるなど、まち全体がセ

ンターの事業運営に協力している形になっています。

生きがいと健康づくり事業

藤沢町ボランティアセンターでは、「高齢者、障がい者の方々の生きがいと、喜びをもって生活できる地域社会を目指し、だれもが望んでいる住み慣れた地域で安心して老い、藤沢に住んで良かったと実感できる町づくり」を目指し事業を展開しています。

団体設立当時、藤沢町は両磐地域内で2番目に高齢化率が高く、自治医大が地域の高齢者を対象に行った寿調査では、「悲しい」「寂しい」という意見が多数占めました。人との触れ合う機会が減り、家庭内での介護力が低下してきていたのも原因の一つだと熊谷さんは考察します。そんな悩みを抱える高齢者を減らすために、同センターでは参加者同士の触れ合いと社会参加を目的に「生きがいと健康づくり事業」を毎年開催。これは、一人暮らしの方と身障の方を対象に、交流親睦会、健康ふれあいウォーキング等を行うといった内容の活動で、親睦会への参加者は多い時で18人ほど。回数を重ねるうち、参加者が固定されてきた

と熊谷さんは話します。平成24年7月11日〜12日は、秋田県横手市へ旅行を企画。鶴ヶ池荘温泉や劇団「芸昇」の公演を観賞し、参加者同士は楽しみながら親睦を深めました。

この他にも、頻りに地域との交流事業を行っており、東日本震災の時は、電気が供給されず危機に陥ったこともありましたが、地域住民や周辺施設からの手厚い援助を受け、困難を乗り越えることができました。

これからも地域のために

取材を受けて頂いた事務局長の熊谷さんは、「藤沢町ボランティアセンターは、住民の要望があり運営されています。今後もこの地域で活動を続けるにあたり、職員全員で協力し、住民の視点に立ったサービスを提供し続けていきたい。」と笑顔でお話してくれました。



情報誌「ほらんとぴあ」
藤沢町全戸に配布しています

地域紹介



～基本情報～

- ◆自治会長：高橋 堅治さん
(平成18年から8年目)
- ◆37戸、140人が暮らす東山町田河津地域の横沢部落自治会は、先人からのあたたかい想いを胸に豊かな自然と共に地域づくりを行っています。

伝承と改革の推進で地域づくり

地域の子はどの子も我が子

東山町幽玄洞から水沢方面に向かう中山間地域で、豊かな自然に包まれて暮らす横沢部落自治会。高齢化率が高いものの、人口に対し子ども数が多いのが自慢の一つで、今年小学校への入学者が0人でしたが、平成26年～34年は入学者がいると笑顔で話す高橋さん。昭和30年代食糧難の中、農作業の忙しい時期のみ開所した季節保育所「へき地保育所」が作られたのが発端となり、子ども育成のため、子どもを大事にしようという考えから、「地域の子どもはどの子も我が子」という想いで、全戸加入で「父母の会」を発足。子どもがいない家庭でも入会でき、繭玉ならし等の交流を含む活動を行っています。

自治会だより

「やまびこ」で情報発信

「今年は花咲じいさんが遅れているネ…」と始まる自治会だより「やまびこ」4月号は、住民に情報を伝えるため、高橋さんが約16年間手書きで発行しているものです。まず手取りにたくなり、読んでいると穏やかな

気持ちになります。当初パソコンで作成したところ、「パソコンの文字は読む気がしない、下手でも間違ってもいいから手で書いて！字を大きくして！」という地域住民からの声があり、筆ペンで書き始めたとの事。住民から「これを記事に載せて」とよく言われるそうで、草刈等の行事について区長より班長を通じ電話する事になっていましたが、お年寄りが多く「いつだったか、どこだったか」となかなか伝わらなかつたのが、「やまびこ」を通して黙っていても行事に人が集まるようになったと嬉しそうに語ってくれました。「やまびこ」の名は先輩から引継いだもので、地域のみんなが心待ちにしている様子が伺えます。

先人の想いと共に地域づくり

平成22年4月、戦火を逃れた藤原秀衛縁の鐘が約70年の時を経て宮城県松島から横沢の地に無事に安置されました。安置場所には住民皆で話し合い、費用も積立金や住民から寄付を募り完成に至ったといえます。東日本大震災の後、祈りをこめ鐘を鳴らし続けたり、昨年年度末から一か月間、梵鐘と月山神社奥の鳥居と金

堀山に祭っている観音様のライトアップを実施。今後も何か地域おこしに繋がりたいと模索中ですが、まずは返還の際、代わりの鐘の寄進を行った事で松島の人と交流が出来たので、今年是被災地の研修を兼ね松島への訪問を計画と語る高橋さん。

梵鐘安置場所の下にある広場には障子付のバス待合所や六角形の東屋等があり、全て住民で話し合い一人一人が持ち寄って手作りした物で、掃除や管理も行っています。

「やるなら楽しく。一人の意見でも否定せず、まずやってみる。やってだめな時は次の事を考える。そして、子ども達に部落の良さや悪さを伝えていき、この地域に残ってもらいたい。」と穏やかに力強く話す高橋さんからは、先人から引継いだ歴史や想いを大切に伝承し、さらに改革の推進を図ろうとする意志が伝わってきました。



戦火を逃れ

70年ぶりに安置された梵鐘

一関糧運株式会社

企業 紹介



代表取締役社長 岩渕 吉郎さん

～基本情報～

- ◆代表取締役：岩渕 吉郎 さん
- ◆事業所（本社営業所）
〒021-0902 一関市萩荘字鍋倉 19-2
TEL：0191-21-1555/FAX：0191-21-5289
（真柴物流センター）
〒021-0901 一関市真柴字祈禱沢 12
TEL：0191-21-1470/FAX：0191-31-1512

タスキでつなぐ児童の健全育成支援

時代とともに

変化し続ける運送業

米や塩、酒などの自由販売ができず、食糧管理制度があった昭和24年、本社を盛岡に置く「岩手糧運」の一関営業所として一関米雑穀協同組合の米輸送を目的に開業し、昭和48年に独立。同年3月に、一般区域貨物自動車運送事業の免許を取得し、翌月に一関糧運株式会社として開業しました。当時は、本社を一関市田村町に置いていましたが、業務拡大に伴い昭和60年に本社営業所を現住所へ移転、平成8年には一関市真柴に物流センターを開所し、米の保管管理のための倉庫業の許可を取得したのです。

現在、本社及び真柴物流センター合わせ、低温倉庫が5施設、常温倉庫を2施設所有しており、低温倉庫では農林水産省の備蓄米やJA自主流通米を保管し温湿度など品質の徹底管理を行っています。

全車にデジタルタコグラフとドライブレコーダーを搭載している同社のトラックは現在46台所有しており、平成18年にはグリーン経営認証及び安全性優良事業所に認定され、安全・環境に全力で取り組んでいる企業です。

地域の人々との

ふれあいの場づくり

市内児童の健全育成とスポーツ少年団の交流、併せて従業員一丸となつての地域貢献を目的とした、同社主催の「市内スポーツ少年団駅伝競走交流大会」は、平成3年から毎年11月に開催されており、今年で23回目を迎えます。学生時代、長距離ランナーだった岩渕社長は「あらゆるスポーツの原点は走ること。ただ走るのではなく、1本のタスキをチームでつなぐ。そのことでチームの絆や協調性を肌で感じてもらい完走した時の満足感、達成感を味わってもらいたい。そして心身ともに健康な大人へと成長してほしい」と、同大会の記録写真を見つめながら、将来地域を担う子どもたちの姿に目を細め語っていました。

開催当初は、10団体ほどの参加でしたが、10年ほど前からは一関市陸上競技協会主催の一般駅伝も同時開催しており、昨年は40団体ほどが参加。家族応援者や地域住民を合わせると当日は1000人を超える人気イベントです。毎年恒例、大鍋3つで作る社員手作りの豚汁はボランティアの方々の手も借り、前日から仕込みを始め選手や家族、応援団すべ

ての人に振る舞われるとのこと。児童たちに大好評の同社大型トラックの展示の他、果物を中心としたチャリティーパーザーでは売上金を全額交通遺児に寄付しています。

20年以上続くこのイベントの開催に関し、岩渕社長は「地域の子どもたちやその家族、関係者がこの日が来るのを毎年楽しみにしていると聞き、社員一同の励みにもなっております。」と語っていました。

心で運ぶ・心を運ぶ

「昔、運送家と聞くと差別的な呼び方をされる時代もありました。しかし、我々運送業は『物流』という一つのインフラだと考えています。震災を通し地域住民にとって物流の重要性や責任を強く感じました。従業員一人一人が地域の生活を支えているのだと誇れるよう、今後も安全・安心の企業づくりに努めてまいります。」と、語っていました。



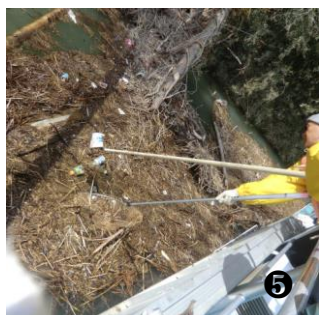
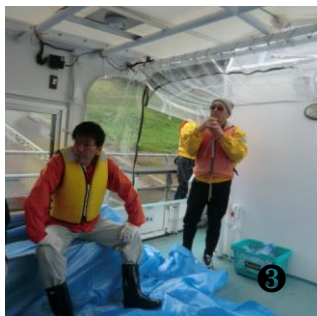
赤いトラックが目印です



◆◆◆◆センタースタッフの体験レポートです◆◆◆◆

歩 が 行 く

◆一関市川崎町の北上川クリーン大作戦！に参加してきました◆



① 第19回北上川クリーン大作戦！は4月28日(日)に開催され、川の清掃活動を実施しました。当日は強風で風が冷たかったのですが、天候には恵まれました。(写真は調査船ゆはず)

② 開会では、日程説明や参加者の自己紹介を行い、各々が乗船する船を確認しました。

③ 調査船ゆはずには、会員や一般参加者を含め14名が乗船し、船長より注意事項等を説明された後、出航しました。

④ 川岸の雑木林には、風で飛ばされてきたのか、ビニールなどのゴミが木や枝に絡みついていた。

⑤ 川の隅には大量の缶や瓶などが浮いていました。落ち葉や小枝と絡まり、回収にはコツがいるようです。

⑥ 約2時間で回収された大量のゴミたち(可燃袋57個)。手作業で分別を行いました。

■ゴミの総重量330kg！

普段、何気なく通行する一関市川崎町の北上大橋。大橋から眺める川は穏やかで、ゴミが落ちていないように見えますが、実は・・・

今回、私が潜入した「第19回北上川クリーン大作戦！」とは、NPO法人北上川サポート協会主催の清掃イベントで、「小さなことからコツコツと！ゴミをなくそう！」をテーマに、より多くの人に北上川の現状を知ってもらい、「ゴミはゴミ箱へ」のモラル向上を目的に実施。

当日は、会員・一般42名が参加。調査船ゆはずや木船の長生丸、ゴムボートに乗船しそれぞれの範囲で川の清掃活動を開始。風は冷たく強い日でしたが、参加者らは川のゴミをフックや高枝バサミを利用し、木々に絡まっているビニールなどの可燃ゴミを拾い、川の端にはビンやカンなどの不燃ゴミを網ですくいあげるなど、コツや力のいる作業を2時間ほど行いました。私は、船に上がる様々なゴミを分別し、それぞれ指定された袋に分ける作業を中心に行ったのですが、「なぜ、そんな物が？」と思うようなゴミもありました。

■川は私たちの生活の源

きれいな川を保つために、地道な活動が必要とし、それに携わっている同協会会員や地域の方々の方がいるのだと感じた今回の潜入取材。空き缶などの「ポイ捨て」は絶対にしないでください！自然には戻らないのですよ！

「北上川クリーン大作戦！」は秋にも開催されるのであります。ぜひぜひ多くの方々に参加していただきたいと思いました。

イ ベ ン ト

ボ ラ ン テ イ ア

情 報 コ ー ナ ー



吉田兄弟～三味線ステージ～

世界各国での活動や、国内外の様々なアーティストとのコラボレーションも積極的に行う吉田兄弟は、もはや伝統芸能の枠を超えたスペシャルアーティスト。本公演は、二人の原点ともいえる三味線だけにこだわった究極のステージです。

【日時】平成 25 年 6 月 1 日 (土)

開場午後 2 時半/開演午後 3 時

【場所】一関文化センター大ホール

【料金】一般 4000 円 (当日 4500 円)

【問い合わせ】一関文化センター

【電話】0191-21-2121

盆栽と山野草展

むろね山野草の会では、室根ふるさとセンターを会場に盆栽と山野草展を開催します。期間中は来館先着 100 名様に花及び苗木をプレゼントいたします。

皆様のご来場お待ちしております。

【日時】平成 25 年 6 月 8 日 (土) ~ 6 月 9 日 (日)

8 日: 午前 10 時 ~ 午後 5 時まで

9 日: 午前 9 時 ~ 午後 4 時まで

【場所】室根ふるさとセンター

【料金】無料

【問い合わせ】一関市室根公民館

【電話】0191-64-2347

室根山つつじまつり

太平洋を一望する大パノラマが広がる室根山の山頂一帯を、約 20 万本のヤマツツジの群落が、鮮やかな赤一色に染めあげる眺めはまさに絶景です。期間中の土・日はイベントが盛りだくさん! 週末は室根山ヘレッツゴー!!

【日時】平成 25 年 5 月 25 日 (土)

~ 6 月 16 日 (日) まで

【場所】一関市室根町 室根山

【料金】臨時シャトルバスは有料

【問い合わせ】室根山観光協会

【電話】0191-64-3806

いちのせき 100 万人のキャンドルナイト 2013 夏至

一関世代にかけける橋では、あいぽーとを会場にキャンドルナイトを開催します。同時に、キャンドル配置をしていただけのボランティアスタッフも募集中。ボランティア希望の方は、イベント会場に午後 4 時までにおいでください。

【日時】平成 25 年 6 月 22 日 (土)

午後 6 時半から

【場所】あいぽーと

【料金】無料

【問い合わせ】一関世代にかけける橋

【電話】0191-23-9721 代表: 橋本

ちょっと昔のはきもの

芦東山記念館では、平成 25 年度芦東山記念館春季ミニ企画展として「ちょっと昔のはきもの」を開催中です。期間中は、無料体験教室「ミニぞうりストラップ作り」も展開。期間中であればどなたでも参加できます。

【日時】平成 25 年 6 月 23 日 (日) まで

【場所】芦東山記念館ホール

【料金】入館料 300 円

(市内の小中学生は無料)

【問い合わせ】芦東山記念館

【電話】0191-75-3861

芦東山記念館館長講座

芦東山記念館では、岩手大学名誉教授の細井 計 (かずゆ) 氏を講師に迎え館長講座を行っています。第 3 回目となる講座は「江戸時代におけるタバコ栽培と流通」と題し歴史感溢れる講話を聴くことができます。

【日時】平成 25 年 6 月 26 日 (水)

午後 1 時半 ~ 午後 2 時半まで

【場所】芦東山記念館ホール

【料金】聴講無料 (展示をご覧になる場合は入館料が必要となります)

【電話】0191-75-3861 (芦東山記念館)

さつき展

むろね山野草の会では、一関市役所室根支所隣 曲ろくホールにてさつき展を開催します。さつきの魅力は多彩な花の美しさと盆栽の自然美の双方を楽しめること。ぜひ、みなさまのご来場お待ちしております。

【日時】平成 25 年 6 月 29 日 (土) ~ 30 日 (日)

午前 9 時 ~ 午後 4 時まで

【場所】曲ろくホール

【料金】無料

【問い合わせ】一関市室根公民館

【電話】0191-64-2347

おはなしの会 TOMO

おはなしの会 TOMO では、千厩図書館を会場に人形劇・ミニシアターを開催します。今回の人形劇講演内容は「三枚のおふだ」です。ご家族そろっておいでください。

【日時】平成 25 年 6 月 29 日 (土)

午後 1 時半 ~ 午後 2 時半

【場所】千厩図書館

【料金】無料

【問い合わせ】おはなしの会 TOMO

【電話】0191-53-3207 担当: 千葉

第 15 回どんぐりの会チャリティー

どんぐりの会では、「障がいをもっておられる人たちと、共に手を取り合った活動を！」をテーマに舞台発表やお茶会を開催します。(同チャリティーで得た収益金は「東日本大震災義援金」として、一関市社会福祉協議会へ寄付させていただきます。)

【日時】平成 25 年 6 月 30 日 (日)

午前 10 時 ~ 午後 1 時

【場所】真柴コミュニティーセンター

【料金】無料 (チャリティー箱有)

【問い合わせ】どんぐりの会

【電話】0191-25-3452 担当: 北岡

いちのせき 市民活動センター

センターの連絡先はこちら



住所：一関市大町 4-29
なのはなプラザ4F
電話：0191-26-6400
FAX：0191-26-6415
営業時間：朝9時～夜6時
休館日：日・祝
スタッフ：6名

ホームページ：<http://www.center-i.org/>

せんまやサテライト

サテライトの連絡先はこちら



住所：千厩町千厩字町 149
電話：0191-48-3735
FAX：0191-48-3736
営業時間：朝9時～夜6時
休館日：日・祝
スタッフ：4名

メール：center-i@tempo.ocn.ne.jp



FMあすも

小野寺副センター長出演の、「人育て地域育てのコーナー」(毎週水曜日、11時半～)の一部を紹介します。

◆5月9日放送「地域づくりで大切なこと」

地域づくりを行う時は、計画に沿って事業を進め、その後の効果を検証しながら繰り返し取り組みを継続していくことが大切です。地域が豊かになるということは、自分の生活が豊かになるということ。これからどのように地域をつくっていかなければならないのか、話し合いの中で、夢や希望を話すことも大事です。



6月のまちのお知らせ

1		16	
2	集落対抗ソフトボール大会 森は海の恋人植樹祭(室根) 室根郷土芸能つづまつり	17	花泉ふれあい会(花泉)
3	花泉ふれあい会ずらんサロン	18	行政相談会
4	黄金山キャンプ場びらき(千厩) 人権相談会	19	
5		20	源氏物語を青表絵本で楽しむ会(大東)
6		21	
7		22	自衛隊音楽隊「ふるさと絆」 コンサート(大東)
8	せんまや夜市(千厩)	23	世代間交流ふれあい輪投げ大会(大東)
9	2013KSRスーパーエンデューロ第1戦 (藤沢)	24	
10	玄米ニギニギ体験教室(花泉)	25	
11		26	
12	寿松苑「おはなし会」	27	
13		28	
14	骨コツ!貯筋教室(東山)	29	
15	シルバースポーツ大会(花泉)	30	東北モトクロス選手権シリーズ第4戦 岩手大会(藤沢)



お知らせ

◆せんまやサテライトのホール貸室について

せんまやサテライトでは、地域で活動する団体の皆様にホールを無料貸し出ししております。「会議をしたいけど?会場が見つからなくて・・・」「子供会行事の打ち合わせをしたいけど、集まる場所が見当たらない。」など、場所をお探しの方、ホールを利用されたい方は、スタッフへお問い合わせください。

尚、ご利用の際は、事前申込が必要で利用契約に同意していただける方に限ります。情報コーナーも完備しておりますのでお気軽にお立ち寄りくださいね♪

今月の表紙



この写真は、大東町興田公民館から渋民公民館へ向かう途中に撮影したものです。写っている蓬莱山は、興田地区のシンボルで、興田地区十景の1つに数えられています。

編集後記

5月は風が強かったり、急に暑かったり寒かったりと天気の変化が激しかったですね・・・さて、6月は梅雨の時期です。みなさま、体調管理に気を付けてお過ごしください。



Q1 助成金は何にでも使えるの?

A1 助成金は事業計画に沿わない使い方はできません。また、人件費や弁当代に使用できない場合もあります。(対象外経費)

あなたの「知りたい」に、担当スタッフが答えます。